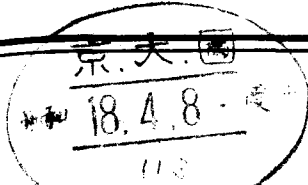


# 天界

(第 23 卷)

第 2 6 2 號

昭和18年 第4號



## 本 號 要 目

口 種: ホイブル・フェトケ彗星 .....	清 水 眞 一
コペルニクの小傳 (2) .....	山 本 一 清 113
反射望遠鏡に依る太陽黒點寫真術 (2) .....	伊 達 英 太 郎 119
故川崎俊一君を悼む .....	山 本 一 清 123
シベリヤ隕星の話 .....	L. A. クリーク 125
天 界 問 答 (3件) .....	128
星 座 と 星 名 (2) .....	山 本 一 清 129
標準天文用語表 (14) .....	134
新刊紹介: 「天體位置表」 .....	136
観測部月報: 流星・黄道光・太陽 .....	138
た よ り .....	144
四月の天象 .....	表紙②
天界正誤表 .....	133, 141, 144
たてぐみ: コペルニクは水星を見なかつたか? .....	(395)

1943年

## 四月の天象

Heavens of April

太陽は愈々北半球で力強い歩みを始めた。四月初めは魚座にあつて、6日には清明、21日は穀雨となる。地上は陽春の氣に満ちる。

11日は“メートル法”の日だ。皇軍と學界だけはメートル法を實用してゐるが、メートルはもはや決して外國法でないのだから、奮つて吾々は之を萬事に用ひるべきである。しかるに、天文界にさへ、今尙、望遠鏡の口径を何インチだとか、太陽までの距離を何マイルだとか言つてゐる人が澤山ある。寒暖計も、寒い方は“零下何度”と攝氏で言つてゐながら、暑い方を百何十度と、華氏で言ふことは一日も早く棄てねばならない。

月は5日に新月、13日に上弦、20日に満月、27日に下弦となる。その途中で、9日には日出後の晝間にアルデバラン星が掩蔽される現象が日本内地では見える。日蝕の接觸時刻の觀測と同等な重要さの現象であるのだから、晴天ならば、各地で大に奮勵して觀測して貰ひたい。この際、最も大切なことは各自の標準時計を正確に保持することである。現象の觀測そのものには、割り合ひに誤りが少い。しかし、時計の取り扱ひについては、今までのアマチュアたちは殆んど全部誤つてゐる。平常から時計を大切に扱ふことが望ましい。“日蝕だ”“掩蔽だ”といふ其の日だけ幾ら氣を付けた所で、時計は言ふことを聞くものでない。時計は“生きもの”なのだ。

永らく其の英姿を見せてゐた**土星**も、ずつと西へ去つて、今月から暫くの間は觀望が出来なくなる。是非見たい人は七月の早曉を待たれよ。

**木星**も可なり西へ進んだが、しかし此の星は双子座を順行中で、赤緯も高いから、まだ々々充分之を楽しむことが出来る。表面の縞模様など、又、ガリレオ衛星の見えかくれなど、五六十倍の望遠鏡でも立派な見ものである。

**金星**はだんだん高くなり、光輝も大きい。正に宵の空の壓巻である——世界のどこかで、この星を敵の飛行機などと、あはてる者もあるか知れない。

**水星**は五月1日に東方極大離角となるのだが、今月でも下旬には可なりよく見える筈。見えるのは日没後の西天である。

琴座の**流星群**が20日前後に曉空に於いて見える筈だが、月が明るいので、觀測に極めて困難だらうと思はれる。

### 會員に關する報告

(18-1-31締切)

【入會】	田村 榮(東京)	米本 正良(東京)	岡 英夫(旅順)
鈴木 久三(大阪)	小幡 政藏(大阪)	竹田 治(大宮)	大西 信夫(大阪)
眞木 賑治(佐賀)	安田 慶輝(布施)	松田 重雄(鳥取)	和田 博(大連)
飯塚 收男(東京)	眞屋 舜(高松)	信垣 幸男(大阪)	近藤 愛造(大阪)
香山喜一郎(横須賀)	菊川芳作(横須賀)	山田 二郎(岡山)	松島龍太郎(神戸)
原子 晟之(青森)	伊東 賢二(半田)		
【觀測部入部】	鈴木 久三(大阪)	堀口 和作(東京)	小田 孝男(東京)
新居敏男(和歌山)	小幡 政藏(大阪)	武田 治(大宮)	眞木 賑次(佐賀)
上野 千勝(東京)	飯塚 收男(東京)	香山喜一郎(横須賀)	菊川芳作(横須賀)

逝去 吉田 祝藏氏(滋賀縣) 大正13年入會, 地方委員  
 岩田與三郎氏(大阪市) 昭和14年入會  
 川崎 俊一氏(水 澤) 大正9年入會, 地方委員

注意: 御移轉の節には直ちに(前住所をも並記して)御通知下さい。觀測部の方は其旨附記して下さい。なほ、會費部費の領收濟芳名は今までこの欄に發表してをりましたが、誌面の都合により、今後は直接各位へ、その都度、入金通知をいたしますから御諒承下さい。(事務局)

廣

告

豫 約 製 作

## “カンコー”天體用反射鏡面

型式: ニュートン式, カセグレン式  
 鏡徑: 8 糎, 10 糎, 15 糎, 20 糎

詳細は御照會下さい。

## アルミニウム鍍金

天體用反射鏡  
 鍍金品目: レフ式カメラ反射鏡  
 理化學器械用反射鏡

其他御需めに應ず。

反射望遠寫眞鏡“カンコー”製作元

京都市東山區山科町御陵  
 電話 山科 5 7 番

### 關西光學研究所

天界 第 2 6 2 號

昭和18年2月28日印刷  
 昭和18年3月1日發行

定價金40錢 送料金1錢

編輯兼發行所 滋賀縣滋賀郡眞野村大字眞野513  
 印刷所 京都市上京區上樺木町千本東入  
 配給元 東京市神田區淡路町二丁目九番地

東亞天文協會 (代表者山本一清)  
 日本出版文化協會第2種會員(第220038番)

眞美印刷所 橋本岩太郎〔電西陣3702〕

日本出版配給株式會社